

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^^)

どれほど夏が暑かろうが、やっぱりその季節が来れば寒くなるんだなあ、と当たり前前ことに感心している今日この頃です。

それにしても、夏が終わるとあっという間に年末が迫ってくるのは不思議だなあ、と以前から感じていたので、どうしてなのかちょっと考えてみました。

どうも私の感覚では、夏というのは「春夏秋冬」の2番目、だから夏が終わった時点で1年の半分が終わったと感じていたのですが、実際は夏が終わるともう9月。残りは4か月しかありません。

「そうかあ～～、だから1年の後半は過ぎるのが速いんだ。これは大発見」。すごく嬉しくなって、さっそくこの大発見を家族に話したら、返ってきた一言。

「当たり前じゃない・・・」

そ、そうか。当たり前だったんですね。気付いていなかったのは僕だけだったんですね(苦笑)。大発見だと思ったんだけどなあ。残念!

さて最近、巷では“自炊”が流行っているんですよ。ご存知でしたか? 自炊と言っても、自分で食事を作るのではなくて「自分で漫画や雑誌、書物などを電子化する」ことを指します。

以前ご紹介した「iPad」などのタブレット型端末(平べったい板のようなコンピューターのこと)の普及で、今後は書籍の電子化が進みそうな気配です。インターネットで本や雑誌を購入してiPadなどで読むというスタイルです。

それじゃ、すでに自分で所有している書物をスキャナでパソコンに取り込んでしまったら? というのが自炊です。自分で吸うから「自吸い」→「自炊」というわけですね。インターネットで「自炊」のキーワードで検索すると、記事がたくさんヒットするので興味のある方は調べてみてくださいね。

さて、私も自炊するためのセットは一通り持っています。取っておくには場所をとるけど、捨てるのはちょっと惜しいなあ、などという本をパソコンに取り込んでしまえば、あとは安心して処分できていいなと考えて2年近く前に揃えたんです。

ちなみに自炊するために必要な道具は、主に次の二つ。本の背中を切断してバラバラにするための断裁機。それから、それをコンピューターに取り込むためのスキャナーです。スキャナーは、よくあるコピーみたいな形ではなく、数十枚の用紙をセットして連続で読み込める「ドキュメント・スキャナー」と呼ばれるものです。とにかくこれさえあれば、身の回りの不要な本はすべて片付き、しかもいつでも読むことができる。しめしめ・・・と思ったのでした。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

あれから2年。紙の本は少しは整理できたでしょうか…。というと、残念ながら思ったようには捗っていません。その一番の理由・原因は「思い切りの足りなさ」でしょうか。これから廃品回収に出そうという雑誌ならまだしも、押し入れに大切にしまわれていた本をバッサリ断裁するというのは、どうも抵抗を感じてしまって…。そのままにしておけば、どうせこの先も読まれることはないのだから・・・と頭では分かっている、なかなか踏ん切りをつけることができず、結局先延ばしです。貧乏性なんですかねえ?

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

ただ、実際に自炊したコミックを iPod touch で表示させてみたところ、思った以上に快適に楽しめましたよ。これなら読みたい本を電車や布団の中で読むのも楽そうです。雑誌などの大きなページ物は大きな画面の端末でないと辛いですが。そんなわけでもうしばらくは本当に要らない書籍を使って自炊の腕を磨いておこうと思います。

